



ライブ体験の極み、 「渋さ知らズ」 可見初上陸!! 市民と共に創り上げる 未体験スペクタクルにハマる

COVER ARTIST INTERVIEW

不破 大輔

Daisuke FUWA

「渋さ知らズ」リーダー

1970年代後半から音楽活動を始め、アングラ劇団「発見の会」の劇伴を契機に「渋さ知らズ」を結成。以降「渋さ知らズ」として多数の演奏、多数の音源・映像をリリースしている。2012年にはSandii、三上寛、遠藤ミチロウ、渚ようこ、泉邦宏、坂本美雨をゲストボーカルに迎えアルバム『波彩歌謡大全』をリリース。公演活動はライブハウスを出発点に、「ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン」など、国内のみならず海外各地のフェスティバルに参加。「渋さ知らズ」の活動とともに、ベーシストとしても活躍。様々な音楽家と共演している。



唯一無二の圧倒的な 音楽。ハフォーマンスを魅せる 「渋さ知らズ」がアールラに登場。

音楽、ダンス、舞台美術が渾然一体となつた唯一無二のステージで観客を引き込むノンジャンルなビッグバンドが、アールラに登場！「渋さ知らズ」、略称「渋さ」が市民ハフォーマーと共に、可児オリジナルのスペクタクルなステージを創造する。

演劇におけるアンダーグラウンドなシーンから生まれたポードレスな団体で、メンバーの出入りが頻繁にあるところもユニークですね。もちろん日本のジャズ・シーンを牽引する凄腕プレイヤーを数多く輩出されているところも含めて。

「渋さ知らズ」は昨年で結成35周年を迎えられましたね。ジャズ、ロック、フォーク、歌謡曲などが混在する幅広い音楽性と圧倒的なハフォーマンスで、音楽ファンだけでなく演劇や舞踏、美術ファンまで多種多様な人々を魅了し続けています。

「僕自身は、狭い人間ですけど、幸い周りに恵まれて、いろんな人が集まってくれました。昔は素人に毛が生えたような方もいっぱいいたんですが、もともと上手い人を揃えて始めたわけではなかったし、別にそういうのを排除することなく、まあやっているうちにまとまってくればいよいよに考えてましたね。個性的な人が好きなんです(笑)。」

そんな風に型破りで自由な姿勢の「渋さ知らズ」だからこそ、一般市民との共同作業によつて「一緒にステージを作り上げる」という企画がしっくりくるんですね。最初のきっかけは何だったんですか？

ここまで続いたことに先ずびつくり(笑)。特に最初の頃は毎日が必死で、先の事など考える余裕すらありませんでした。自分の役割はバンドの「代表」というより「交通整理」をする役で、みんなと助け合いながら何とかやってきた。ベースはフリージャズですが、そのことにこだわらず、何か面白くてカッコ良くて素敵なものを、その時その時のメンバーと一緒に追い求めてきた結果です。これからも生き続けている限りずっと楽しく続けられそうですね。

東池袋の「あうるすぽっと豊島区立舞台芸術交流センター」と2008年10月に開催した「渋さ知らズ」の怖いもの知らズという企画のワークショップを契機に展開するようになったのだと思います。

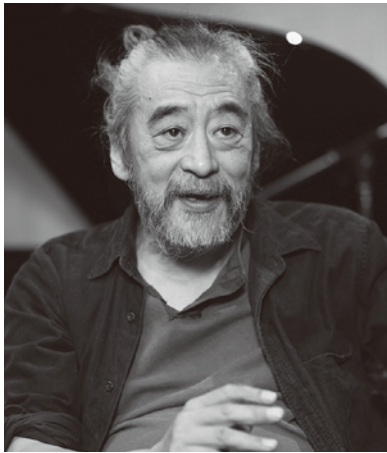
可児市の近辺では、2018年の2月に愛知県の知立市でワークショップとコンサートが一体化したイベントを開催されました。

おかげさまでスタッフのノウハウも確立しているんで、自分は何も心配することなく毎回うまくいっています。



今回のアールラでも、音楽組、踊り組、美術組、子供組の4つのカテゴリーでの募集がありました。





その場でスカウトというわけにはいきませんが、実際にうちのベーシストも昔ワークショップに参加したのがこの道に入るきっかけになりました。今はもういなくなっただけで、ダンサーや美術スタッフにもいましたね。

定員はありますがオーディションではないので、気軽に応募していただけたら嬉しい。自身をみつめて「これがやりたいんだ」ということを発見する絶好の機会だと思っております。ぜひ自分で自分の背中を押してみてください。

「澁さ知らズ」の大ファンだからぜひステージで共演したいという人や、何となく面白そうだから一緒にやってみようかという人まで、皆さんの動機も様々でしょうね。

「澁さ知らズ」自体がスタッフも含めてそういうカテゴリーで構成されているので(※子どもはいませんが)、できるだけ各方面に向けて沢山の方が参加できるような場を提供したいのです。

市民ミュージカルや市民ダンス企画など、様々な実績がある可児市だからこそ、よそとは違う何かが生まれるかもしれません。

ふだんは即興演奏が基本で、曲順についても当日の天気だったり、会場の様子やお客さんのノリを見てその場で決めるのですが、今回はそうもいかないので参加者と一緒にこれから決めたいと思っています。

今回、音楽組の指導役を務めるアルトサクソ奏者の松原慎之介くんも、若い頃に地元札幌で体験したワークショップが忘れられなくて、自分もやりたいって言うてくれました。

アララのこれまでの取り組みについて伺って凄く期待しています。うちのメンバーの瀬瀬雅代さん(アルトサクソ)の出身地でもありますし、何しろドラマーの森山威男さんがいらっしやる街なので！しかも今回のステージングは近年でいちばんの大所帯になりそうなのでとても楽しみです。本番では大勢のお客さんを前に最高のパフォーマンスを披露できるように頑張りたいと思います。

取材/東端哲也 撮影/中野建太 協力/フリーペーパーMEG



本公演は宝くじの助成を受けて実施します

澁さ知らズ オーケストラ みんなの大音楽祭

日時 2/24(月・振休) 14:00開演
会場 主劇場
料金 全席指定 2,000円 25才以下 1,000円
発売中

情緒豊かな語り、心に響く三味線の音

可児常磐津教室 ^{はる}巴瑠の会 令和六年度 おさらい会

日時 2/11(火・祝) 13:00

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで語り継がれています。巴瑠の会生徒による素浄瑠璃をお楽しみください。

出演：可児常磐津教室 巴瑠の会 講師：常磐津 巴瑠幸太夫

会場 小劇場 料金 入場無料 主催：巴瑠の会



多様な文化的背景をもった市民による舞台と交流会を楽しもう!

多文化共生プロジェクト「HOME」 & 多文化交流会

日時 2/16(日) ①13:30 ②16:00

今年度のテーマは「Home」。家族、家の間取り、居場所をキーワードに、ブラジル・フィリピン・中国・日本にルーツを持つ市民参加者にインタビューを行い、台本をつくります。演出チームは、堀江善弘さん、ニノキノコスターさん、今津知也さんで、ダンスや身体表現を使った舞台作品を創り上げます。

出演者：可児市在住の外国籍市民参加者

会場 演劇ロフト

料金 入場無料(要整理券)

※0才から入場可

インフォメーションにて整理券

配布(電話予約可)

協力：NPO法人可児市国際交流協会(KIEA)



0才からご鑑賞いただける子ども向けクラシックコンサート

おやこでうたうコンサート

日時 3/1(土) 11:00

| 出演者 |

趙知奈(ソプラノ)、福田紗永(クラリネット)、野口夏菜(ピアノ)

| プログラム |

リスト/愛の夢

ほよん行進曲 ほか

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円
 中学生以下 500円
 ※3才未満入場無料

発売中

主催：福田音楽事務所



2023年度公演の様子

あなたのそばに、本格クラシックコンサート

音楽家の集いvol.83 あなたに贈る愛の歌

日時 3/1(土) 16:00

| プログラム |

リスト/愛の夢

フィンジ/5つのパガテルより ほか

会場 音楽ロフト

料金 全席自由 800円

発売中

主催：福田音楽事務所



趙知奈(ソプラノ)



福田紗永(クラリネット)



野口夏菜(ピアノ)

楽しく深堀り、歌舞伎の世界

歌舞伎とおしゃべりの会 3月の会 地芝居大国ぎふ応援大使ふたり、おいに語る 市川笑三郎VS葛西聖司

日時 3/1(土) 13:30

ゲストは、地元・中津川市観光大使も務める市川笑三郎さん。古典作品からスーパー歌舞伎まで幅広く演じる実力派ながら、リーディングオペラなど分野を問わず存在感を発揮する岐阜のスターと、皆さまおなじみ葛西聖司、ふたりの大使が歌舞伎の魅力について、熱く火花を散らします。

ゲスト：市川笑三郎

講師：葛西聖司

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売中



ゲスト：市川笑三郎



講師：葛西聖司

今年もやります!名優と名人が織りなす話術の饗宴

古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会

日時 3/15(土) 14:00

毎年恒例となっている「風間杜夫の名人会」。今年度は、古典と新作の二刀流で当代きっての人気噺家・柳家喬太郎をゲストに迎え、落語とトークをたっぷりご堪能いただけます。

出演：風間杜夫、柳家喬太郎

会場 小劇場

料金 全席指定 3,500円
 25才以下 1,750円

発売中



風間杜夫



ゲスト：柳家喬太郎

被災者の心の復興を祈る — 復興支援コンサート



祈りのコンサート2025

日時 3/9(日) 14:00

東日本大震災と能登半島地震および豪雨の被災者の長く困難な復興のために、今年度も支援コンサートを開催します。公演の収益と、お客様からいただいた支援金は、被災者の心の復興のために現地で活動している被災者支援団体等に寄託します。

【プログラム】
ベートーヴェン／チェロ・ソナタ 第3番 イ長調 Op.69
J.S. バッハ／G線上のアリア

(管弦楽組曲 第3番 二長調 BWV1068 よりII. エア)
ショパン／英雄ポロネーズ 変イ長調 Op.53 ほか

会場 主劇場 料金 全席指定 1,000円 ※4才から入場可

発売中



長谷川彰子(チェロ)
※新日本フィル首席チェロ奏者



森浩司(ピアノ)

ナビゲーター:佐野秀典(作曲・編曲家)

【協賛】

株式会社カラピナ、株式会社松栄堂楽器 可児店、株式会社トイ・ファーム、株式会社 ワンズ・プランニング、岐阜県舞台設備管理事業協同組合、じゃぱんSANDWICH、ハーモニーワークス、ホテルルートイン可児、丸理印刷株式会社(敬称略・順不同)

アール・キネマ倶楽部 3月



『ある一生』

上映時間115分／字幕
2023年／ドイツ＝オーストリア

不条理な運命に翻弄された80年ー。
それでも、彼は幸せだった。

日時 3/16(日)・3/17(月)
各日10:00 / 13:30



1900年頃のオーストリア・アルプス。孤児の少年アンドレアス・エグガーは溪谷に住む、遠い親戚クランツシュトッカーの農場にやってきた。しかし、農場主にとって、孤児は安価な働き手に過ぎず、虐げられた彼にとっての心の支えは老婆のアーナルだけだった。彼女が亡くなると、成長したエグガーを引き留めるものは何もなく、農場を出て、日雇い労働者として生計を立てる。その後、溪谷に電気と観光客をもたらすロープウェイの建設作業員になると、最愛の人マリと出会い、山奥の木造小屋で充実した結婚生活を送り始める。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった……

会場 映像シアター 料金 全席指定 900円 25才以下 450円

発売中

詩情豊かな歌声で味わう名曲の数々

倍賞千恵子コンサート with 小六禮次郎
～やさしさをあなたに。思い出のページをめくって～

日時 3/20(木・祝) 14:00

自身のヒット曲『さくらのバラード』や『さよならはダンスの後に』などの名曲を夫で作曲家の小六禮次郎とともに披露するコンサートがアールに登場。エンターテイナーとしてさらに磨きがかかったステージングと、それを支え彼女の最高値を引き出すピアノの魔術をご堪能いただけます。そこから醸し出されるやさしさ、家族、日本の風景を満喫してください。



倍賞千恵子

演奏予定曲

下町の太陽
さくらのバラード
死んだ男の残したものは
さよならはダンスの後に ほか

※曲目は変更する場合がございます。

会場 主劇場 料金 全席指定 7,000円

発売中



小六禮次郎(ピアノ)

チケット取扱 / 可児市文化創造センター・インフォメーション

ネットで予約する



<https://www.kpac.or.jp>

24時間いつでも予約可能！ ネットでのカード決済も可能。お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！



電話で予約する

TEL. 0574-60-3050

お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアール窓口で！

9:00～19:00

(火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み)

窓口で購入する

窓口でご利用可能なカード



- 発売日は窓口・ネットで販売。電話予約は翌日からとなります。 ●表記のない公演の開場は開演30分前です。 ●振込による代金支払い・チケットの配送サービス(有料)もございます。
- 表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。 ●25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
- 公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

簡単・便利！自宅でチケット予約



インターネット予約

残席が当日安くなる！

割引 50%

当日ハーフプライス

【当日ハーフプライス】
残席がある場合に限り公演日当日、チケット料金が半額になります。
※インターネットは0時から。
窓口・電話は9時から。

スマホで完結！チケットレスサービス



チケットレスQ

【チケットレスQ】
インターネットでチケットを予約購入、お手持ちのスマートフォン等によって QR コードを表示してご入場いただけます。
※アール主催・共催公演対象



【託児サービス】
1名 500円
※要事前申込
※このマークがある公演対象

日	曜	開演 予定	終演 予定	催事名	入場	問合せ先
---	---	----------	----------	-----	----	------

主劇場(宇宙のホール)

5・6	水・木	ⓧ14:00 ⓧ10:00	ⓧ16:30 ⓧ12:00	今渡幼稚園・大栄幼稚園ひなまつり音楽会	関係者	今渡幼稚園長 田中康順 0574-25-8793
9	日	14:00	16:00	東日本大震災復興支援 能登半島被災者支援 祈りのコンサート 2025	詳細は P5	可児市文化創造センター 0574-60-3311
13	木	10:00	15:00	コープぎふ 職員全員集会	関係者	コープぎふ機関運営 グループ 058-370-6875
16	日	14:00	16:30	可茂ジュニアウィンドオーケストラ ～Resonair～ 第6回定期演奏会	無料	山口 090-8471-0827
20	木・祝	14:00	15:30	倍賞千恵子コンサート with 小六禮次郎 ～やさしさをあなたに。思い出のページをめくって～	詳細は P5	可児市文化創造センター 0574-60-3311
23	日	16:00	18:00	L'espoir de ballet 第13回発表会	全席指定 990円	レスポワールドゥバレエ 0574-42-9444
26	水	18:00	20:00	帝京大学可児高等学校・中学校 吹奏楽部 第13回定期演奏会	無料(要整理券)	帝京大学可児高等学校 中学校 0574-64-3211
30	日	①11:30 ②16:15	①13:10 ②18:00	ヤマハ音楽教室発表会	無料	(株)松栄堂楽器 可児店 0574-63-3151

小劇場(虹のホール)

2	日	14:00	15:45	第31回ピアノコンサート	無料	音の森ピアノ教室 森 090-1740-5586
9	日	13:00	16:00	SSM 音楽祭	全席指定 800円	日比野眞士 080-4612-1852
15	土	14:00	15:45	古典落語とトークで味わう 風間杜夫の名人会	詳細は P4	可児市文化創造センター 0574-60-3311
16	日	14:00	15:15	可児ロータリークラブ創立 50 周年記念式典	無料	可児ロータリークラブ 事務局 0574-63-1001
20	木・祝	13:00	16:00	リトルコンサート	無料	吉鷹奈津子 0574-64-3638
22	土	10:00	12:00	ひろみ保育園すくすく卒園式	関係者	ひろみ保育園すくすく 0574-62-8884
23	日	13:30	15:30	志賀金也 優勝記念ライブ&津軽三味線 to 謡	全席自由 500円	志賀金也 080-6908-3787
26	水	13:00	15:00	鈴鈴・ヒバリーヌ ふたりのピクリショー ～昭和うた～	無料 ※高校生以上	山田雅枝 070-2228-0093
30	日	13:15	16:00	ピアノ発表会	関係者	河村千英子 musicparty.kk2025 @gmail.com

ギャラリー

2/27~3	木~月	9:30	17:00	詩と写真展 それぞれの空 2025 最終日 15:00 まで	無料	柴田哲男 090-7311-3516
5~9	水~日	9:00	17:00	可児市文化協会書道部作品展 初日 13:00 から 最終日 15:00 まで	無料	出口久美子 0574-65-9269
12~16	水~日	9:00	22:00	フォト可茂写真展 2025 初日 11:00 から 最終日 17:00 まで	無料	林秀元 090-7863-0980
19~23	水~日	10:00	17:00	第30回可児アングル展 初日 13:00 から 最終日 15:00 まで	無料	中島繁昇 090-5456-4705

- ・入場者多数の場合、定員以上はご入場いただけません。主催者都合により入場制限をする場合がありますので、整理券等の有無につきましては事前に主催者にご確認ください。
- ・主催者都合により発行後内容が変更になる場合があります。催しの詳細につきましては主催者にお問い合わせください。・劇場につきましては本番ご利用日のみ掲載しております。
- ・駐車場に限りがありますので、公共交通機関の使用等をお願い致します。・1/1 時点での申し込み状況、予定を掲載しています。



『児童・生徒のためのココロとカラダワークショップ』

かさじぞうに変身

子ども達が自分を表現し相手に伝え、そして相手を受け入れるための活動「ココロとカラダワークショップ」。アーラでは2013年度からアーティストを学校へ派遣し、クラス単位で演劇やダンスの手法を活用した表現ワークショップを行っています。



2024年度も市内小学校11校のべ47クラス、そして学校へ行きたくても行けない児童生徒のための教室スマイリングルームを訪問しました。

昨年度から始動した小学校低学年を対象としたアフタフ・バーバンさん講師のワークショップでは、影忍者にバレないように子ども達はモノや動物になりきって巻物をゲット！活動後のアンケートでは生き生きとした感想をイラストで描いてくれる子も。

小学校中高学年を対象としたTen seedsさん講師のワークショップでは、クラスの新たな魅力を発見する仲間あつめや、相手にどうやって伝わるのかチームで創意工夫し表現をつくりあげました。

毎回、子ども達の底知れぬエネルギーや柔軟な発想力に感嘆します。アーティストの皆さんはそんな子ども達が持ち合わせる宝石をぐんぐん磨いてくれています。

(事業制作課 渋谷)

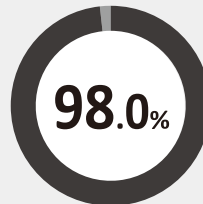
【子ども達の感想】

- ・ワークショップは何だろう？と思っていましたがとても、いや、さいこうに楽しかったです。
- ・一人ひとりの意見を大切にもらってうれしかったです。
- ・みんなと協力をするから心もあたたくなくてすごく良かったです。
- ・転校してきて1年も経っていないので仲が深まりました。
- ・今年で1番笑うぐらい楽しかったです。



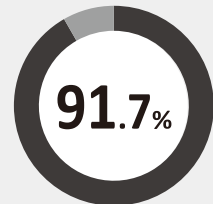
ワークショップを体験した子ども達のアンケート結果(一部抜粋)

ワークショップに参加して楽しかったですか？



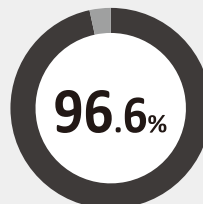
■ YES ■ NO

自分の考えた表現や意見を友だちに伝えることができましたか？



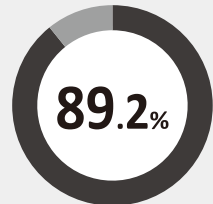
■ YES ■ NO

友だちの表現や意見がもしろいと思えましたか？



■ YES ■ NO

自分のクラスがもっと好きになりましたか？



■ YES ■ NO

実施回数: 47回
講師: Ten seeds、アフタフ・バーバン
アンケート回収率: 83.7%
(参加人数合計1,331人、回答数1,114枚)

館長エッセイ

「昭和」は遠くなりけり

可児市文化創造センター館長 籠橋義朗



3月20日に倍賞千恵子のコンサートを開催します。今回はこの公演の企画図を記したいと思います。

私たちが若い頃よく聞いたフレーズに「明治は遠くなりけり」という言葉がありました。昭和初期の世相を反映し、気骨ある明治時代へのノスタルジーを表したものです。私たちは戦後の高度成長期の昭和時代を体験し、平和と自然災害の平成時代を経て今、令和時代を生きています。しかし今回のタイトルにもある通り、昭和こそ真面目に日々を過ごしていれば必ず明日は明るくなると感じられた時代。たったのではないかと感じています。そして今はデジタル技術の発展などにより玉石混交の意見が飛び交い、不寛容で窮屈な時代と感ずるのは私だけではないと思います。私たち昭和世代の者としては通信手段や情報が限られた中、家族団らんで一つのテレビを囲み、濃密な家族関係や人間関係を身に付けてきました。現代は、スマホ一つあればいつでもどこでも情報が手に入り、世界中の人たちとつながることが可能であり、「便利さ」が24時間寄り添っています。私自身も当然にその恩恵を享受しています。しかし、だからといって、昭和時代の人々よりも「心が豊かになった、幸福感が増した」とはとても思えません。祖父母や父母の時代からは本当に遠くへ来てしまったことや、これからのこの国の行く末にとっても大きな不安を覚えます。

当時、流れていた昭和の叙情歌は私たちの心の奥底にある、人としての大切なものを育ててくれたものと思います。時代の流れというのは一直線に性急に進むものではなく、過去の時代に対する郷愁を感じ、残しながら進むものだと思います。

以上の意味をもって、今は「減多に歌わない歌手」とされ、それが大女優とのイメージとも重なって、倍賞千恵子の歌は希少価値があります。今回、予定されている歌は

♪下町の太陽 ♪さくらのバラード

♪死んだ男の残したものは ♪さよならはダンスの後に

などです。多くの昭和の叙情歌に包まれ、しっとりとした時間を過ごしていただきたいと思います。



光が紡ぐ笑顔とつながり 4年振りに「アーラ・イルミネーション」開催

コロナ禍や光熱費高騰の影響で休止を余儀なくされていた「アーラ・イルミネーション」。可見の冬の恒例イベントとして地域に定着していただけに、いつもなら賑わう冬の広場が、ここ数年は何とも寂しげ…。復活が決まった時は、ほっとしたのと同時に今までのような賑わいを取り戻せるかという不安もありました。しかし、1日1組限定の点灯式の申し込みも予約開始日から数日で全枠埋まり、イルミネーション復活を楽しみにしてくださっている市民の方々の存在を感じることができました。

開催初日の12月7日は、点灯式に可見市ふるさと広報大使の塚本明里さんが登場。同日開催した関連企画「きらきら☆スノードームをつくろう!」に参加した子どもや保護者の方とともに開幕をお祝いしました。ボランティア団体「木曾川トリベール」さんが製作したドーム状の竹灯りが広場を優しく照らすなか、皆でカウントダウンをして、点灯ボタンをON! 視界いっぱい広がる、色とりどりのイルミネーションに歓声があがりました。それと同時に子ども達が芝地を駆け下りていき、美しい光の輝きを楽しむ姿が印象的でした。

毎晩行う点灯式には、お子さんのお誕生日を祝うご家族や、サンタの恰好でクリスマスを楽しむ方々など、皆さん思い思いの特別な時間を過ごしていて、そんな姿に立ち会う私たち職員も自然と笑顔に。参加者の中には、中学生のお子さんが生まれた頃から参加されていて家族の恒例イベントになっているとお話して下さった方もいて、大切な思い出づくりのお手伝いできていることに、あたたかい気持ちになりました。

期間中、水と緑の広場は多くの人たちで賑わい、笑顔が溢れていました。一度は途切れたアーラ・イルミネーションですが、また地域の方々の大切な思い出を紡ぐ場所となるよう、これからも続けていきたいと考えています。(顧客コミュニケーション室 河合)



点灯式初日(可見市ふるさと広報大使の塚本さんと子ども達)



点灯式後の記念撮影(アーラ職員撮影)



2月のおすすめ 【1カ月限定】高級海苔弁当販売

じゃぱんサンドイッチでは、厳選食材と日本料理の料理人がこだわりの詰まった高級海苔弁当を販売致します。脂の乗った銀むつの柚香焼き、有明海の高級海苔、地鶏のだし巻き玉子など、他では中々食べられない物をお作り致します。自分へのご褒美や、大事な方への土産などに如何でしょうか。

高級海苔弁当 一人前 … 2,160円(税込) ※完全予約制

2月限定となりますので、是非この機会にお試し下さいませ。ご予約を心よりお待ちしております。

TEL 0574-63-5223

営業時間 9:00~20:00

アーラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF(一部対象外公演あり) ※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可見市文化創造センター *ala*

休館日 2月は4、12、18、25日
3月は4、11、18、25日

〒509-0203 岐阜県可見市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp

開館時間/9:00~22:30(火曜休館/祝日の場合は開館 翌平日休み)
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ㊚ala_info.01@kpac.or.jp

